

地区スローガン：「ロータリーを楽しみながら 世界で良いことをしよう」

クラブ方針：～我々の生業は社会に奉仕する。～「世界平和をなすためにベストを尽くそう」

国際ロータリー第2790地区 第3グループ 千葉西ロータリークラブ Rotary Club of Chiba-West WEEKLY COMMUNICATION

創立 1976年1月20日 承認 1976年2月25日
会長 花嶋 実 幹事 川城 孝夫
例会場 千葉スカイwindウッズ 東天紅 センシティタワー23階
TEL 043-238-5555
例会日 毎週火曜日 12:30～
事務局 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階
TEL 043-245-3202 FAX 043-245-7522
E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp
URL : https://www.chibawest-rc.net/

■ 会長挨拶 / 花嶋 実 会長

先週 19 日から 21 日までは広島での主要7か国首脳会議（G7 広島サミット）が開催されました。後半からはプラス 8 か国とウクライナも会議に合流、ロシアの侵略、地球環境、世界経済問題など多くの課題について協議しました。戦争を起こさない紛争解決を世界秩序の確立のもとにおこなうこと、特に主催国の広島での開催の意味からして核廃絶を訴え将来の世代が核の恐怖におびえることなく、平和と繁栄を享受できるようにすることが我々の信念であり責務ですと岸田総理は語ってありました。我々の責務も同様であり一人一人は世界が平和になるよう努力しなければならないとあらためて認識いたしました。



本日の午前中は、公益信託千葉西ロータリークラブの青少年育英基金の運営委員会が開催されました。花光運営委員長及び運営委員の仙波様、森様、川島様、大森委員にはご苦勞様でした。ありがとうございました。

今週土曜日の27日朝から JR 稲毛駅前のふれあい花壇の植え替えを行います。提唱しております千葉県立千葉商業高等学校インターアクトクラブの生徒 4 人及び顧問の先生が 2 人参加いたします。本日の朝にいつもご協力を頂いております千葉造園様に依田委員長、宮川副委員長とともにご協力をお願いに伺い、先方様には快くお引き受けいただきました。千葉西ロータリークラブの継続事業であります。会員のみな様には積極的にご参加をお願い申し上げます。

例会は一年を顧みてのテーマで 4 委員会の委員長から発表していただきます。お話し時間をなるべく取らせていただきたいので私の挨拶はこのぐらいで終わりいたします。簡単ではありますが、本日の会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

■ 四つのテスト / 大西裕子 会員

- 「言行はこれに照らしてから」
- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなの為になるかどうか



■ お客様

- 森 淳 様 (青少年育英運営委員)
- 仙波慶子 様 (青少年育英運営委員)
- 川島なを子 様 (青少年育英運営委員) ※委員会ご出席
- 大木定夫 様 (入会予定 千葉信用金庫稲毛支店長)

■ 表彰 米山功労者

山本康昭 会員 第 56 回メジャードナー



■ 幹事報告

- 第 24 回アートフレンズ展 (千葉幕張 RC 主催)
- ～なんらかの障がいがありながらアートする人たち～
- 5月23日(火)～28日(日)
- 千葉市美術館 9階市民ギャラリー
- 本日より開催です。是非足をお運びください。



一年を顧みて

2022-23年度 各委員長

■ 一年を顧みて 大森 薫 職業奉仕委員長

今年度職業奉仕委員会の委員長に任命されました大森です。副委員長に野口正夫、委員に平塚五郎治、田中智、丸山正紀(転勤)さんで構成されております。しかし、副委員長野口正夫さんは1年間欠席、他のメンバーも兼任委員だったので委員会活動は難しかったです。

1. 職業奉仕の活動方針について

花嶋会長は RC の会員は自分の職業を通じてお客様や取引先だけでなく、地域社会や業界団体に対してもロータリーの職業奉仕の理念を持って行動し、啓蒙していくことが重要という方針を立てられましたので、次のように活動方針を立て、実践しました。

2. 職業奉仕の活動計画としてあげた目標と成果について

(1)ロータリーの職業奉仕とは何か?職業奉仕の実践とは何かを知って頂くために、地区協職業奉仕委員長小野塚雄(松戸)さんに卓話を依頼し、研修を通じ、(実施が遅くなった)

①ロータリーの目的と職業奉仕の理解をするために過去のロータリー活動の変遷、及び、研修委員会の研修内容とロータリー情報との情報を知って貰う。

その内容としては(職業奉仕の手引き)

- ・職業上の高い倫理基準をもって活動すること
- ・役立つ仕事はすべて価値あるものという認識を持つ事
- ・社会に奉仕する時にはロータリアン各自の職業を高潔なものと認識し、行動/発言する

②その結果、ロータリーの目的と職業奉仕の役割を各会員が自分の事業とすりあわせて頂き、良い部分を取り込み、自社の事業をより良い事業にすることです。

③そして、ロータリー活動は自社・自分のこととして参加して貰うよう活動する。

(2)ロータリアンの行動規範の確認の一つとして毎例会で、「四つのテスト」を行う。

前年委員長の前野さんから「4つのテスト」発言順番事績を受け継ぎ、会員全員がダブらない。やらない方がいないよう「4つのテスト」の発生をする人の管理をしました。

ほぼ、全員に行き渡ったのではないかと思います。

(3)例会場で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び知る。

(コロナの影響も小さくなり、会員間コミュニケーションも大部取れたかな?と思う。)

(4)各会員(ロータリアン)が自分の職業の高潔さを重んじて仕事に取り組み、言動を通じて模範を示し、倫理的な行動を周囲に促す。(個人的に行うこと)

(5)専門能力のキャリア目標を支援する。仕事の紹介をすることもその一つである。

(6)地域社会での奉仕プロジェクト、若者のキャリア目標の支援で職業のスキルを生かす活動は出来ませんでした。

以上、職業奉仕委員会の1年を顧みての報告です。1年間ありがとうございました。



■ 一年を顧みて 今野文明 ロータリー財団・学友委員長

本年度、ロータリー財団委員会委員長を務めさせて頂きました今野でございます。構成メンバーは、副委員長に野口アキ子会員、また兼任委員に津田会員、飯高会員、平良会員に務めて頂きました。

ロータリー財団の標語『世界でよいことをしよう』を念頭に置き一年間、活動をして参りましたが、例年通り大きな変更もなく活動できたと思っています。

活動方針は、「ロータリーの重要な奉仕活動の一つに財団への寄付があります。世界で良いことをするために、ロータリー財団を推進し、寄付の理解、寄付の促進ならびに目標達成へ高揚させていきたいと考えています。またその他、ロータリー財団活動の実施、毎月の寄付受付、学友会への協力、ポリオ根絶活動を促進します。」と書かさせて頂きました。

昨年の10月4日の担当例会では、野口アキ子 PP に「世界平和とロータリー財団について」というテーマで卓話をして頂きました。

野口さんは、ロータリー平和センターに出向し、2020年から22年の2年間、19期生のカウンセラーを務めた時の貴重な話を聞くことができました。

おそらく時間が足りず、話せなかったことが多く有ったと思います。

またどこかで続きが聞けたらと思っています。

以上でございます。ご協力、ありがとうございました。

■ 一年を顧みて 依田和孝 社会奉仕委員長

本年度、社会奉仕委員長を務めさせて頂きました依田和孝です。

社会奉仕委員会メンバーは2名の副委員長宮川会員と白井会員、委員に吉野会員と友田会員、兼任委員として嶋田会員で私を含めた6名で活動して参りました。



活動内容としては継続事業でございます JR 稲毛駅前ふれあい花壇植え替え事業を11月12日に実施致しました。2回目は5月28日今週土曜日に植え替えを致します。千葉商インターアクト部員の協力もございましたので多くの会員の方々の参加を何卒宜しくお願い致します。また9月は赤い羽根共同募金、11月と6月はいのちの電話チャリティーコンサートのパンフレット協賛広告及びチケット販売に多くの会員の皆様にご協力を頂きました。コロナ禍にも関わらず多くの協賛を頂いたことから、いのちの電話事務局も例会に来訪され、お礼の言葉を頂きました。社会奉仕はロータリーの大きな指針です。一つ一つ全てが社会奉仕活動について述べていますが何をすれば地域社会に貢献できるか、今後も会員の皆と一緒に考えて行こうと思っております。会員の皆様には協力して頂くことが多く本当にありがとうございました。最後に次年度社会奉仕委員長は本年度幹事でした川城会員が務めますので次年度もご協力の程よろしくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。

■ 一年を顧みて 海寶勘 一国際奉仕委員長

先先に思うことがあります。一年間の活動方針を確りと立案作成してくれた、前委員長の前田善弘さんに代わって委員会の年間事業を引き継ぎ、なんとか無事に事業完遂ができた報告ができることにホッとしています。前田さんが体調を崩されて、急遽入院加療に専念されたことから委員長を引き継ぎましたが、前田さんは大きな事業計画を3つ立案しました。一つ目が千葉市立検見川小学校へ展示依頼をする第43回目書画交流。二つ目が2月に開催する高雄市北區 RC と釜山鎮 RC の両姉妹クラブを迎えての歓迎会と合同例会の開催。三つ目が3RC 合同奉仕活動の三大事業です。この3年間、世界中がコロナ禍での感染予防規制によって国際親善事業が停滞していましたが、4年ぶりに2姉妹クラブをお迎えできましたことは、クラブにとっても元気を取り戻す朗報になりました。コロナ禍で先延ばしになっていた3姉妹クラブ間の締結書の会長幹事署名も、無事に取り交わすことができました。合同例会壇上にて、3クラブ会長幹事が揃って締結書を手にして満面の笑みでのスナップポーズは、なかなかの感動的な光景でした。前日に開催した歓迎会には友好クラブの花輪 RC も参加くださいました。親睦活動委員会のご尽力で東京品川へのバス旅行が行われましたが、アクアパーク品川と、東京湾内での屋形船遊覧では皆さんが大変喜んでくれ、有意義な親睦を深めることができました。本来であれば、3RC のロータリアンが揃って千葉市立検見川小学校へ訪問して、実際に書画鑑賞と児童との交流ができることを願っていたのですが、コロナ禍感染予防の観点から、学校訪問と児童との交流が果たせなく無念です。併せて3RC 合同奉仕活動も施設等の慰問をする形態が出来ませんでした。書画の展示模様は、検見川小学校の青木雅之校長先生に来会をお願いして、合同例会の中で展示風景を映像で紹介して頂きました。準備段階から検見川小学校の誠意ある対応と、担当の中城杏奈先生が熱心に取り仕切ってください、実にありがたく思いました。姉妹3RC 合同奉仕活動は、東日本大震災時に遺児となった学生の奨学金を支援する「ロータリー希望の風」に、3RC が合計30万円の寄金をすることができました。合同例会場に於いて震災遺児支援会の宇佐見透会長（千葉幕張 RC）から感謝状が3クラブ会長に贈呈され、12年前に起きた東日本大震災による遺児教育支援の意義が、台湾と韓国のロータリアンにも十分理解して頂きました。地味ながらも、東日本大震災遺児教育支援の意義を深く感じ取れる合同奉仕事業となり安堵です。2月の姉妹クラブ来会諸事業を終えた翌月の3月末には、次世代を担う青少年育成交流事業として、高雄市北區 RC へ第29回目子弟交流事業の送りだしがありました。川城孝夫幹事のご長女香菜子さん20歳（陳 Top 宅泊）と、森川知子事務局のご長男17歳雄太君（郭 Bailey 宅泊）が参加してくれて、若者育成事業として国際親善が立派に継承されました。ホームステイを通して連日の親善活動に参加され、日々の高雄での模様は瞬時に Line で映像配信され、クラブの皆さん全員で共有できるネット社会の恩恵を存分に体感することができました。付き添い責任者として須藤郁雄副委員長が同行して頂きました。出発前に成田空港内で行われたオリエンテーションも、皆さんが真摯に受け止めてくれ、国を超えた新世代育成事業を理解して頂き、成功を確信することができました。お二人の体験報告書を拝読して思うのは、「世界はひとつ」、文化や言語を超えた若者同士の国際親善は、未来に向けた友愛を広げてくれました。更には、今回は特別なミッションがあり、森川知子さんが高雄市北區クラブのサクソフォン同好会から招請をうけ、演奏トレーニングの指導プログラムを実施されました。これも、歴代メンバーとの信頼関係が深くあってこそその友好的な国際親善交流であり、価値ある素晴らしい華を咲かせてくれました。宿泊を引き受けて下さった陳会員と郭会員に感謝を申し上げ、全てに最善の受け入れ対応をくださった高雄の皆さんに、心からのお礼をお伝えいたします。今年度の国際奉仕委員会活動を通して得たものは、高雄市北區と釜山鎮の両クラブとの深い信頼関係の再認識ができたことです。世界的なコロナ禍の行動規制があって交流が叶わなかった3年間がありましたので、3人の会長年度が無意味に過ぎ去ったと思っていました。しかし、その空間が無駄でなかったと感じるほど、姉妹クラブ同士の絆は強く信頼が厚いことを改めて確認できたことは、とって貴重な体験となりました。これも偏に、3クラブの歴代委員会の方々が築きあげてくれた信頼と実績、深い友愛があればこそで、改めて感謝とお礼を申し上げます。国際奉仕委員会としては、委員会メンバーが綿々と引き継ぐ事業を継承できたことに安堵し、次年度への引継とクラブ創立50年度に向けて、姉妹クラブ活動が一致団結した運営ができることを念じるばかりです。最も肝心な委員会活動予算の収支決算報告ですが、会員皆様のご理解を賜ることができ、恙なく決算承認がされホッとしています。今後ですが、関係する姉妹友好4RC の若い会員世代間の国際奉仕事業が、順調に継承できることを念じております。この一年間、国際奉仕活動にご支援くださった会員の皆様と、特段のご支援を下さった親睦活動委員会ははじめとした各委員会の皆様には、大変お世話になりました。改めてすべての会員皆様方、この一年間、国際奉仕委員会活動にご理解とご支援下さり誠にありがとうございました。クラブの非公式事業になりますが、両姉妹クラブ会長交替式への訪問手続きのお手伝いが最後の活動になります。花嶋 実会長と川城孝夫幹事のリードのもと、森川知子事務局のご尽力を得て、当委員会メンバーと一緒に活動できたことに深く感謝しお礼を申し上げます。ここにこうして、前田善弘前委員長に代わって事業報告ができましたので、いつの日か前田善弘委員長が復帰され、委員会のお手伝いができる日を楽しみに待つことにします。



